

2025
11月号



松本 純 HP

令和7年11月1日号
発行 松本純事務所

松本 純レポート

No. **11**

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/> ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

高市新内閣 松本純 (党副総裁特別補佐) は、高市早苗内閣を支えます

2025年10月21日、高市早苗首相が選出されました。10月4日に行われた自民党総裁選では、第一回投票において議員票では小泉進次郎候補に敗れたものの、党員・党友票では圧勝、第二回投票では党員の意思を示す都道府県票、議員票の双方で一位となり、憲政史上初の女性総裁の座を手に入れました。

そして、私、松本純は、新総裁による新役員人事の結果、自民党副総裁特別補佐（副総裁指名）を拝命いたしました。



「日本をもう一度、世界のとっぺんに」



その後、これまでの松本純の政治活動を支えてくださった公明党の連立離脱という大きな動きがあり、公明党の皆様には感謝しつつも一連の流れを見守りました。これにより高市首相の総理への道は非常に厳しいものとなりましたが、首班指名の前日である20日、野党である維新との閣外協力による連立合意が成立、第一回投票で高市総理が選出されることとなりました。

維新との連立政権では、物価高対策を中心とした経済政策や安全保障分野において、しっかりとした合意を形成、ガソリンの暫定税率の問題や補正予算などの臨時国会での早期対応を表明しました。また高市色の強い即応性の高い内閣の誕生により、米国のトランプ大統領の来日、韓国におけるASEAN+3（日中韓）首脳会談の開催など、目白押しの外交日程を見事にこなし、内外から高い評価を得る幸先の良いスタートを切りました。

高市総理は「日本をもう一度、世界のとっぺんに」を目標に技術立国日本を取り戻そうとしています。

先端分野や特殊分野など、日本にしかない技術も存在します。今年のノーベル賞では化学賞と生理学・医学賞で日本人がダブル受賞となり、日本の存在感を示しました。政治の後押しで、こうした日本の魅力をさらに発信してもらいたいと期待しています。

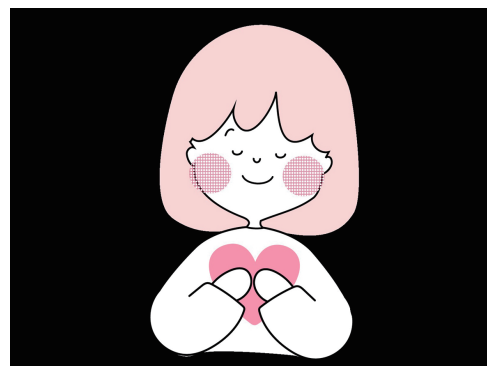
新内閣のもと、経済対策をはじめやるべきことは山積みです。松本純は自民党副総裁特別補佐として、次代を担う若手政治家の育成に努めてまいります。

避妊がうまくいかなかったときや、思いがけない性被害にあったとき、妊娠を防ぐための選択肢として「緊急避妊薬」があります。これは中絶とは違い、排卵を遅らせて妊娠を防ぐ薬です。性交後 72 時間以内に服用する必要があり、早いほど効果が高く、24 時間以内なら約 95%とされています。

現在は医師の診察が必要な医療用医薬品ですが、薬局で薬剤師の説明を受けて購入できるようにする検討が進んでいます。

世界では約 90 か国で医師の処方せんがなくても購入でき、緊急時に女性がすぐに支援を受けられる体制が整っています。日本でも適正販売体制の構築に向けた試行的取り組みが行われています。研修を受けた薬剤師が対応し、悪用を防ぐため薬剤師の前で服用します。年齢制限はなく、服用 3 週間後に、検査薬や受診により妊娠の有無を確認します。薬局はプライバシーに配慮し、産婦人科と連携する体制を整えています。

また、性暴力や虐待が疑われる場合には、薬剤師がワンストップ支援センターや児童相談所などと連携し、安全を守ります。対応できる薬剤師や薬局を、厚生労働省のホームページで公開しています。地域全体で支援し、誰もが安心して必要なときに助けを得られる社会を目指します。



自民党では、党勢拡大を図るため、全国各地の選挙区で党員の獲得に努めています。各支部長が中心となり、地元の有権者に呼びかけるもので、これまで神奈川 1 区支部長を務めてきた松本純の呼びかけを通じて多くの地元支持者の皆様が党員登録をしてくださいました。

この度の松本純の支部長退任から、新たなる党員獲得の呼びかけは、丸尾なつ子神奈川 1 区新支部長へと引き継がれ、松本から継続された党員の皆様の移行手続きはすべて終了いたしました。丸尾支部長は、移行登録をしてくださった



▲地元で有権者のお一人おひとりと向き合う丸尾支部長

支援者のお一人おひとりに直接お会いし、新支部長として国政に臨む決意をお伝えし、さらなるご支援、ご支持のお願いをさせていただいているところです。

丸尾なつ子支部長は皆様との絆を、「より強く、豊かに」深めさせていただく所存です。今日まで、松本純ならびに自民党神奈川 1 区をお支えくださった党員の皆様へ感謝を申し上げますとともに、今後のさらなる党勢拡大に、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。